

第 1 問

解答

問 1	101	②
問 2	102	①
問 3	103	①
問 4	104	②

解説

問 1

正解は②。

食や健康に関するある指標を示した階級区分図を見て、指標名を選ぶ。高位の国の共通点を探っていこう。日本に関する理解も役立つ。

②は適当。高位の国のうち、サウジアラビアなどの中東諸国、北アフリカ諸国、ナミビアなどは「乾燥気候が分布する産油国」という共通点を持つ。穀物生産に不適な気候環境ながら、石油収入により十分な穀物を輸入できるため穀物の輸入依存度が高い。日本や韓国も高位であるが、ともに農家保護が不十分な工業国であり、先進国の中でも突出して（コメ以外の）食料自給率が低い。

①は不適當。栄養不足人口はサハラ以南の中南アフリカ（サブサハラ）に集中する。

③は不適當。1人1日当たりカロリー摂取量は、欧米先進国で高く、途上国で低い。なお、和食文化を持つ日本は先進国の中では比較的低い。

④は不適當。平均寿命は先進国で高位（日本は特に高い）、衛生環境や栄養状態の不足から乳幼児死亡率が高い途上国は低位となる。

問 2

正解は①。

ヨーロッパ、西アジア、アフリカの4地点における自然環境と農業の特徴に関する説明文の正誤を判定する。誤文に明確な誤りが含まれるので消去法でもよいだろう。

①は適当。ウクライナ周辺には肥沃な黒色土チェルノーゼムが分布し、世界的な穀倉地帯となっている。

②は不適當。乾燥帯のオアシス農業を象徴する作物はナツメヤシ。アブラヤシは熱帯性の作物であり、東南アジアが主産地となっている。

③は不適當。ウは赤道上に位置するため、年中高温多雨の熱帯雨林気候に属する。雨季と乾季が明瞭で高温のサバナ気候はその周辺に分布する。

④は不適當。大陸南端のケープタウン（南アフリカ共和国の港湾都市）周辺は、温帯で夏に乾燥し冬に湿潤となる地中海性気候である。南半球の地中海性気候区（工の他にオーストラリアのパーズ付近、チリのサンティアゴ付近）は頻出なので覚えておいた方がよい。

問 3

正解は①。

コーヒーと茶の1人1日当たり消費量を示す散布図からイギリスのデータを選ぶ。4か国とも決めることが重要である。

イギリスは①。イギリス人といえば紅茶を嗜む習慣がよく知られる。紅茶は（日本の緑茶と同種の原料の）茶葉を発酵させたもので、茶の栽培に適した旧イギリス植民地（インド、スリランカ、ケニアなど）でプランテーション栽培が発達した。しかし、アメリカ合衆国の喫茶店チェーンが進出した影響などで近年はコーヒーもよく飲まれるようになっている。

イタリアは④。イタリア発祥の抽出方法による濃厚なエスプレッソコーヒーが広く好まれる。

インドネシアは③。インドネシアは世界第3位のコーヒー豆生産国（2022年）であるが、生産量の半分以上が輸出されている。

中国は②。中国では茶葉を半発酵させた烏龍（ウーロン）茶がよく飲まれる。

問4

正解は②。

2 地域のイモ類における食品ロスに関する統計表を基にした文章の正誤を判定する。データの読み取りではなく、文章自体の整合性を問う内容であった。

②は不適當。高温湿潤の環境下では栽培サイクルが短く多毛作が可能であるため、収穫時期には幅があり「短期に集中」しない。高温湿潤の環境であれば、腐敗しやすくカビが生えやすいことが貯蔵段階でのロスを生む要因となる。

①は適當。先進国の消費者は食品に対して高い品質を求めるため、小売業者が生産者や加工業者に対して厳しい品質管理を課すことになる。なお、EU（ヨーロッパ連合）の共通農業政策でも、農産物に厳しい品質基準が設定されている。

③は適當。小売店は欠品（品切れ）による機会損失や顧客離れ、信用低下を恐れ、仕入れ数が過剰になる傾向がある。

④は適當。フードバンクは、企業や農家、商店などから、賞味期限が近いがまだ安全に消費できる食品、規格外品や外装の不備によって市場に出せない食品などの廃棄予定食品を収集し、貧困層や支援が必要な人達に提供する社会活動である。フードバンクは、食品ロスを削減し、生活困窮者を支援するという持続可能な目標に向けた取り組みとなっている。

第 2 問

解答

問 1	105	②
問 2	106	④
問 3	107	⑤
問 4	108	①

解説

問 1

正解は②。

新旧地形図の判読を基にした文章の正誤を判定する。判読内容こそ過去問と同じレベルだが、形式が面倒な組合せ式になっており注意が必要である。

a は正。旧図では「歩兵營（營）」「練兵場」となっていた図中央部の豊川沿いの土地が、新図では「豊橋公園」に変わっている。

b は正。旧図では桑畑が広がっていた飽海町の北側から豊川の間は、新図では畑、田、果樹園などに利用されており、宅地化はごく一部にしかみられない。

c は誤。新図の東新町の北に 8.8m の水準点、瓦町の北に 19m の標高点が読み取れる。よって国道 1 号線は北西から南東にかけておおむね上り坂となっている。

問 2

正解は④。

豊橋市における製造業の立地特性をまとめた資料に基づいた会話文の正誤を判定する。資料のすみずみまで注意して判断したい。

④は誤文。たしかに 2 地区とも主要道路沿いに分布しているが、「三河湾臨海地区」はその名の通り港湾に面して立地しており、海上貿易における利便性が最大の立地要因である。まために添えられた写真にも航行する船舶が写り、「海外自動車メーカーの流通基地も立地」の説明も貿易への依存を示唆する。

①は正文。1000 人以上のメッシュは 4 つあり、4000 人以上の従業員が集中している。これは総数の約 3.6 万人の 1 割 = 3600 人を上回る。

②は正文。他の地域にはそのようなメッシュの連続はみられない。

③は正文。「集積の利益（集積の経済）」のうち最も重要なものは、企業間の近接による輸送費や取引費用の低下である。他に、工程の結合による効率の向上、社会資本（産業インフラ）の有効利用などのほか、企業間の連携が深まることや、人材や情報の獲得が容易になることなども挙げられる。

問 3

正解は⑤。

東三河地域における 3 つの作物の行政区域別収穫量の推移を示した統計地図を判別する。各作物のもつ意義を想起したい。

キャベツはウ。1960 年の生産量はわずかであったが、2006 年には特に渥美半島で生産量が著しく拡大している（各グラフの縦軸のラベルにも注意）。天竜川などから導水する豊川用水の開通によっ

て水利が向上したことに加え、聞き取り調査で「大消費地へのアクセスが向上」とあることから名古屋圏の市場を背景とした近郊農業の発達に結びつけたい。この地域の農家は、単価の高い新鮮な野菜や花卉（電照菊が有名）を大消費地に出荷する輸送園芸農業に特化している。

米はア。日本では稲作が可能な土地ではそれが優先される傾向にある。しかし、大河川の存在しない半島部は水利が悪く、稲作農業のウエイトは低かった。

サツマイモはイ。ラテンアメリカ原産であるサツマイモの栽培は、近世になって救荒用（飢饉に備えるため）に導入されて全国に普及した。水の乏しいやせ地でも栽培が可能なため、火山灰地・台地・半島部などで盛んに生産された。しかし収益面では劣るため、用水完成後は他の作物への転換が進んだ。

問 4

正解は①。

東三河地域を発着地とした他府県との旅客数の統計表において、府県や交通機関を判別する。交通機関については迷いやすいだろう。

K は静岡。静岡県と東三河は長い県境で接しているだけではない。いずれも「東海道メガロポリス」と呼ばれる関東～関西を結ぶ巨帯都市の一部を形成し、資料 1 中の地図にも示されたように高速交通網で強固に結合された都市化地域となっている。とくに豊橋市と近接する浜松市とは、ともにかつては繊維工業、現在は輸送用機械工業が発達する一体化した経済圏といえる。そのため、企業間の取引、買い物、レジャー等を含めた人的交流がさかんである。一方、J の長野県とは内陸で県境を接しているものの、木曾・赤石両山脈の南部にあたる山岳地帯で、天竜川の渓谷沿いに JR の在来線（飯田線）が通るものの、高速道路・新幹線などの交通網は発達していない。

K は自動車。たしかに愛知県と静岡県には輸送量の大きい東海道新幹線が通っているが、豊橋駅や浜松駅などに「のぞみ」は停車せず、多くの利用客にとっては通過点に過ぎない（本問は東三河地域を発着点とした旅客に限定されていることに注意）。先述のような企業間の取引や買い物・レジャーなどを考えた場合、豊橋市と浜松市・湖西市を結ぶ国道 1 号線のほか、東三河地域（豊川市・新城市など）と静岡県を通る東名高速道路・新東名高速道路などを利用した自動車での短～中距離の移動が中心となる。また、比較的遠距離の大府との移動では鉄道が上回ることも矛盾しない。

第 3 問

解答

問 1	109	①
問 2	110	⑥
問 3	111	③
問 4	112	③

解説

問 1

正解は①。

日本列島周辺のプレート境界を示した図をもとに、火山活動や地震について説明した文の正誤を判定する。弧状列島（島弧）としての日本列島の成り立ちについての基本的な理解が求められる。

①は適当。日本周辺の主要なプレート境界はすべて狭まる境界のうちの沈み込み帯である。東北地方の活火山の列は、日本海溝と並行する東北日本弧にあたる。これは海洋の太平洋プレートが北アメリカプレートに沈み込み、一定の深さに達すると融解によってマグマを生じて火山を形成しているのである。

②は不適當。確かに活火山の数は少ないが、フィリピン海プレートがユーラシアプレートに沈み込む西南日本弧の一部であり、沈み込みの圧力がプレート内の岩盤にひずみを蓄積させて活断層を作る。過去に繰り返し活動してきた活断層がずれ動くと、内陸部で地震が発生する。これを直下型地震といい、都市直下に震源がある場合などに甚大な被害が生ずる。1995年の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）はこれに当たる。中国地方では2000年にマグニチュード7.3の鳥取県西部地震などが発生している。日本列島はほぼ全域に活断層が分布しており、頻度の差はあっても「〇〇では地震が発生しない」といった表現は明らかな誤りである。

③は不適當。九州も狭まる境界に沿っており、「離れつつある」が誤り。

④は不適當。面積や水深に関わらず、海域に震央のある地震では津波が発生する可能性がある。南西諸島は東シナ海に面しているから、地震発生時には津波を警戒する必要がある。

問 2

正解は⑥。

地図中の3地点における月別降水日数のグラフを判別する。日本の気候に関する基本的な設問であり、とりこぼしできない。

a はウ。日本海側に位置し、北西季節風が日本海で湿気を含んで雪雲を作るため冬季の降水（降雪）が多い。

b はイ。太平洋側に位置し、南東季節風の影響で夏季の降水が多い。

c はア。低緯度で、周囲を海に囲まれた島嶼に位置する。このため、高温で年中多雨となっている。

問 3

正解は③。

地すべり地の利用と地すべり対策に関する資料中の文章の空欄を補充する。地すべり地の利用については一部教科書の特集ページに記述があるものの、やや発展的な題材である。ただし対策も含めて資料中に十分なヒントがある。

カは棚田。日本の棚田は、伝統的に地すべり地を利用して開墾されてきた。2024年の能登地震で被害を受けた「白米千枚田」も、地すべりの跡を利用したものである。それを知らなくても、地すべり地の3D画像から、斜面を畔（あぜ）で階段状に区切った無数の水田面が読み取れ、棚田に特有の「田毎の月」の景観を想起できる。果樹園であれば、水はけのよさを求めるため畔を必要としないし、日当たりを良くするために傾斜地のままで果樹を植えることが多い。

キは上昇。模式図に「排水トンネル工」とあり、「集水井」であつめた地下水を排水する＝地下水位を低下させることが地すべり対策に有効であることが分かる。とすれば、地すべりが発生しやすいのは地下水位が上昇したときである。そもそも地すべりは斜面の全体または一部が、地下水の働きと重力でまるごとずれ動くことであり、おもに豪雨などに伴って発生する土砂災害である。

問4

正解は③。

津波被害を受けた地域の地形図を判読して、津波や津波防災について述べた文の正誤を判定する。誤文を消去していけばよいが、正文自体の内容は2017年の共通テスト試行問題において写真入りで扱われたこともある常識的な内容である。なお、図3の範囲はリアス海岸で知られる三重県の志摩半島の一部であると思われる。

③は適当。海に面した標高の低い地点では、高台や浸水区域外への避難が時間的に難しくなる可能性が高いため、津波から一時的に緊急避難するための津波避難タワー、津波避難ビル、津波救命艇などの備えが必要となる。津波避難タワーは、東北地方太平洋沖地震（2011年）による東日本大震災後に特に設置数が増加している。

①は不適當。Aの学校は港湾に流れ出る河川沿いにあり、標高は10m未満だが、Bの公共施設は最高標高116mの丘陵の麓にあり、周囲の等高線から標高は30m程度である。

②は不適當。Cは谷の中で側部に比べれば低い位置だが、海岸部に比べれば標高は高い。よって浸水の深さは海岸よりも小さくなる。

④は不適當。津波による浸水地域に必ず自然災害伝承碑があるとは限らない。

第 4 問

解答

問 1	113	①
問 2	114	②
問 3	115	④
問 4	116	④

解説

問 1

正解は①。

北半球 3 地点における高床式の住居の写真と、気候統計のグラフとを組合せる。頻出事項を組合せることで、知識力と思考力を確かめる適度な難易度の設問となっている。

アは A。アの写真は、ロシアのシベリアにおいて建物内の熱が伝導して永久凍土を溶かすことを防いで地盤の安定性を保つために高床にした住居である。シベリアのように高緯度で内陸になるほど気温の年較差は大きい。一方、隔海度が高いため水蒸気には乏しく、とくに冬には高気圧が発達して乾燥する。

イは B。イの写真は、日本の北陸地方において積雪時にも建物から出入りしやすいように高床にした住居である。日本海側にある北陸地方は北西季節風の影響で冬の降雪が多く、新潟県十日町市などの豪雪地帯も分布する。

ウは C。ウの写真は、東南アジアにおける水上生活のようすを示している。カンボジアのトンレサップ湖がその典型であるが、サバナ気候における雨季には水位が上昇するメコン川からの逆流がおきるため、湖が定期的に氾濫する。3 地点の中で最も低緯度に位置しているため、気温の年較差が最も小さいことも矛盾しない。また、人々の生活は内水面漁業に依存している。そのため、水上の集落が合理的なのである。同様の水上生活を営む民族は、メコン川流域のほか、フィリピンやインドネシアのバジャウ民族の集落などにもみられる。

問 2

正解は②。

日本とブラジル・ベトナム両国との間での移住者の統計表において、統計の主題、交流に関する説明文を判別する。

日本国籍を持つ居住者数は E。E と F では全体的に F のほうが居住者数は大きい。現代においては、経済水準の高い先進工業国である日本に、途上国～新興国である両国からの出稼ぎなどを目的とした居住者が多くなる。

E について ブラジルで日本国籍を持つ居住者の中には、かつての日本からの移民もわずかに含まれるが、ほとんどの移民はブラジル国籍を取得している（日系ブラジル人）。ベトナムで日本国籍を持つ居住者の多くは、最近日本からベトナムへ進出した企業の関係者と考えられる。

F について 日本におけるブラジル国籍をもつ居住者が増加した契機は、1990 年の出入国管理法改正によって日系人の子孫の就労目的での滞在が認められたからである。ただし、2008 年のリーマンショック以降は雇い止めにあうなどでブラジルに帰国する者も少なくない。近年ではベトナム国籍をもつ居住者が急増しているが、その多くは労働集約的分野の労働力として活用される技能実習生や、資格外活動でアルバイト労働に従事する留学生である。

ブラジルに関する文章はキ。日本が貧しかった明治～昭和初期には多くの日本人が中南米などに移民労働者として送り出された。ブラジル側では奴隷解放後の農園労働力を海外から受け入れる必要があった。ブラジルへ渡った日本人やその子孫はサンパウロなどに日系人社会を形成し、「日本祭り（フェスティバル・ド・ジャポン）」の開催などを通して現地の人々との交流を深めている。

ベトナムに関する文章はカ。内容については上述のとおりである。

問 3

正解は④。

いくつかの国において公開された主な映画作品の製作国別の割合を示すグラフに基づいて、説明文の正誤を判定する。誤文の明確な誤りに気づきたい。

④は不適當。メキシコ・カナダで公開された主な映画の大部分は、ともにアメリカ合衆国のものであり、ハリウッドに商業映画製作の世界的な集積地をもつ同国文化の影響が強いことが読み取れる。しかし、アメリカ合衆国と同じ英語圏のカナダに対し、メキシコではおもにスペイン語が話される。よって、英語話者の割合の高さとアメリカ合衆国の影響の大きさは必ずしも相関していない。

①は適當。西アフリカのセネガルは旧フランス植民地である。

②は適當。インドはその好例で、おもに自国市場向けに映画製作のさかんなムンバイ（旧称ボンベイ）は、ハリウッドになぞらえて「ボリウッド」と呼ばれる。

③は適當。自国市場が狭い韓国では、「韓流ドラマ」などの映像作品や、K-POPなどの音楽を初めから他国の市場で売り出すことを前提に製作している。

問 4

正解は④。

いくつかの国における携帯電話の普及の時期と速度を示したグラフにおいて、国名を判別する。発展途上国で携帯電話の導入が遅れたことは容易に理解できる。経済水準の高い国どうしの判別が決め手となるが、都市国家シンガポールの特性に注意したい。

アメリカ合衆国はシ。日本同様に、携帯電話の導入時期は早い。しかし、すでに回線電話（固定電話）が普及しており、情報通信機器の需要が小さい広大な農村部も存在するため携帯電話の普及のスピードはそれほど速くない。

ケニアはス。所得水準の低い発展途上国であり、導入時期は遅い。しかし、回線電話が未発達の農村部などでは、基地局の設置で使用できる携帯電話のほうが低コストで導入できるため、モバイルバンキングなどの利便性もあって急速に普及した。

シンガポールはサ。人口規模が小さいうえ、貿易、金融、サービスなど情報通信機器の必要性が高い分野に従事する高所得者層の割合が高く、政策による高度な ICT インフラの整備を背景に携帯電話の普及スピードが著しく速かった。